

日本学術会議・「言語・文学委員会」
科学と日本語分科会(第24期・第2回)議事要旨

日時：平成30年4月7日(土)14時00分~16時00分

場所：東京大学駒場キャンパス I 16 号館 1 階 107 室

出席者：木部、金水、酒井、才田、小林、鈴木、谷川

ゲストスピーカー：

市田泰弘（国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科教官）

木村晴美（国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科教官）

小野公祐（明晴学園 商学部教諭、明晴プレスクールめだか 管理者）

（手話と日本語のバイリンガルろう教育による私立聾学校、児童発達支援事業所）

他に、手話通訳者2名、

議 題 (1)前回議事要旨の確認

(2)今期の取り組みについて

分科会の体制について説明し、今期の課題は先期に提出した提言の検証と普及であることを確認した。木部委員より、2019年マスタープラン（重点大型研究計）の案を出さなければならぬことの説明があり、提言の内容を含めて研究計画書を提出することで意見が一致した。

(3)手話言語に係る現状と課題について

ゲスト講師から、「アーカイブの記録のしかた保存のしかた（どのような方法があるのか）」「学術的な言語としての普遍性」「現在の教育の現状」等々について話を伺い、議論を深めた。

次回の予定：7月14日 14時~16時 東京大学駒場キャンパス